

2024年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	☐ 一般入試 ☒ 外国人留学生特別入試 ☒ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（ 東洋史学 ）
出題の意図	問1では、東洋史学を志す者がふまえておくべき重要な問題の一つについて、自らの考えを的確に述べる能力があるか確認することを意図している。 問2では、東洋史学が対象とする様々な問題について、自分の専門分野に限らず、幅広く基礎的な知識を予め修得しているか確認することを意図している。

2024年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 東洋史学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 5枚を配付する。

問1 次の問いに答えなさい（解答用紙1枚を用い、問1と明記すること）。

日本で東洋史学を研究するということは、ある地域の歴史を、研究対象地から見て外国に相当する場所で研究することを意味する。研究テーマが何であっても、研究対象地ではなく、あえて日本で研究することの意義や利点が、現実の研究状況（日本における研究史の展開、特色ある問題意識・研究視角など）、あるいは史料状況（史料の利用環境など）から説明されるべきである。あなたの研究テーマについて、この点を具体的に説明しなさい。

問2 次の語句から4つを選び、それぞれ400字程度で説明しなさい（語句1つにつき解答用紙1枚を用い、まず問2と記し、さらに選択した番号を明記すること）。

- | | | |
|----------------|---------------|----------------|
| (1) ムハージルーン | (2) ナーディル・シャー | (3) サムドラ・パサイ王国 |
| (4) ムスリム同胞団 | (5) アリーガル運動 | |
| (6) 偽古文尚書 | (7) 言路官 | (8) 科举廃止 |
| (9) 国民大会（中華民国） | (10) 郭沫若 | |